

LOOB JAPAN 設立趣旨書

趣旨

北の先進国の生活は、南の開発途上国との経済関係の上に成り立っていますが、人のレベルでは隣国に対する無関心や差別意識がまだ根強く、目に見えない大きな壁があります。しかし世界のほとんどの国・地域で共通するのは、経済発展やテクノロジーの普及により、人々の心の結びつきが薄れたり、未来に希望が持てない人々が増えていることです。

豊かな未来社会を構築するためには、隣の人、地域、国との結ぶつきを深め、共に歩くことが必要です。日本とフィリピンの関係においても、まず人と人から始まる絆を大切し、「一方的な支援でなく、現地の人と共に学び成長する」ことを大切に、地域に溶け込んだ交流活動と心の通い合う支援活動を目指します。

私たちは、このように精神的豊かさや地域の結ぶつきが社会の発展に最も重要であると考え、文化的かつ教育的な草の根交流を通じて日本とフィリピンの相互理解を深め、さらに地域社会の発展に寄与することを社会的使命(ミッション)として活動します。

設立の経緯

私たちは、上記のミッションに沿って、日本人とフィリピン人青年を対象とした草の根交流事業のほか、現地フィリピンの低所得者向けの自立支援事業を実施するため、民間非営利団体(任意団体) LOOB JAPAN を発足します。また、フィリピンの非政府組織(NGO 法人) LOOB INC を現地パートナーとし、日本とフィリピンで活動を実施します。

活動目的と種類

当会は、日本とフィリピンの子供、青少年および一般社会人が、文化的かつ教育的な人的交流を通じて相互理解と友好親善を深めると共に、フィリピンの低所得者層を対象としたコミュニティ開発、教育・医療支援、環境保護、自立支援などの活動を推進し、参加メンバーの奉仕精神を育て、地域の発展に寄与することを目的とします。

- (1) 開発途上国における地域協力・地域交流プログラムの実施
(ワークキャンプ／スタディツアー／生計支援〔養豚・裁縫〕)
- (2) 開発途上国の子ども達への教育・医療支援
(こども教育サポート／こども医療サポート／子供英語アクティビティ)
- (3) 開発途上国の困難な状況にある地域・世帯への物資支援
(物資・衣類寄贈／災害支援)
- (4) 国際理解のための日本文化・海外文化の普及
(語学ボランティア活動)
- (5) 国際協力および国際交流のための募金活動と広報の実施
(1～4のためのチャリティフリマ、説明会、広報活動、各種イベント出展)
- (6) 機関紙の発行
(ニュースレター発行)
- (7) 以上の活動を行う団体への援助活動
(現地 LOOB フィリピンへの援助)
- (8) その他目的を達成するために必要な事業